

自民候補への4団体支持 音楽関係者らが抗議

日本音楽事業者協会と日本音楽制作者連盟、コングサート・プロモーターーズ協会、日本音楽出版社協会の4団体が、参院選の国民投票権補の支持を表明した。

との決起集会」の概要を伝える動画（外部サイト）のURLを掲載しています。動画では、生稻候補と同僚の今井絵理子比例候補者が、音楽団体関係者とみられる参加者とともに「勝つぞ」と気勢を上げています。

日本漫画家協会が反対声明を発表
インボイス創作阻害

日本漫画家協会は4日、現行のインボイス（適格請求書）制度に反対し、見直しを求める声明を発表しました。

日本の漫画家は免稅事業者が多く、同制度が導入されれば、インボイスを発行できない場合の発注元が漫画家との関係悪化や取引中止、発行に伴う事務処理負担増加など「これまで漫画家の創作活動を阻害するおそれがある」と指摘。適格請求書発行事業者公表サイトに本名が公表されるため、ペンネームで活動する人が多い漫画家の個人情報保護への懸念があること、「健全なる漫画の普及および漫画創作活動の奨励、ひいては我が国文化の

「Save Our Space」は2日、抗議声明を出し、3日時点で200人以上の賛同者が集まつた。ツイッターで発表しました。

表明が業界全体の意見として社会的に受け止められかねないとして様々な政治的情報を持つ会員がいるなかで、本来は自由投票とするべき」と指摘。多くの会員・会員社を抱える団体として、「会員権」と強調してしまった。また、シェンダーハー等施策に適切的で、アーランスや小規模事業者に大きな経済的ダメージを与える「インサート」制度を「公に説明する義務がある」と述べて、賛同を集めています。声明は、今回の支持表明が業界全体の意見として社会的に受け止められかねないとし、「様々な政治的情報を

発展途上国から貿易の規制緩和が進むにつれて、輸入税の削減や輸出の促進が図られて活動範囲が拡大され、懸念事項が払なき「世界貿易」でもない限り、規制緩和の実現は、必ずしも順調でない。それは、ボイコット制度が導入されると、その適用範囲が拡大され、それがまた、規制緩和の実現を阻む要因となるからである。